

## 平成 29 年度女性ネットワーク委員会活動報告(第 3 回)

平成 29 年 10 月 15 日

女性ネットワーク委員長 糸井 知美

10 月 15 日(日)、市民ホール谷田部にて第 2 回平成 29 年度つくば市 PTA 連絡協議会 女性ネットワーク委員会研修会が開催されました。

今回は『親子のコミュニケーション』をテーマにした討論会でした。

参加者を別の学校同士で、1 グループ 6~7 人の計 9 グループに分け、それぞれのグループで家庭・学校・地域での取り組み、あるいは悩みごとについて意見交換を行い、その話し合いの内容を、代表者がとりまとめて発表するという取り組みでした。

時間の関係で 3 グループのみの発表となりましたが、「反抗期」に入り、会話が少なくなった事についての悩み、携帯を持たせることによって「親子間のコミュニケーションが不足するようになった」といった悩みが多く寄せられていたように感じました。

以下、概要報告です。

### 【悩みごと】

#### ★反抗期について

- ・反抗期の低年齢化を感じる。
- ・反抗期に伴って親子での話し合いをする時間が減っているように感じる。

#### ☆挙げられた対策

- ・13 歳前後は脳の前頭葉再構築時期であり、感情のコントロールが出来ずに反抗期になる、親はその事を理解して子供に向き合う必要がある。
- ・ヒートアップしている時は時間を置く。子供へのボディタッチも効果があると思われる。
- ・父親に求める事…母親と別の事をして欲しい。子供を連れだしてフォローする等リセットの役割。
- ・反抗期は構い過ぎない。
- ・子供が話すきっかけを待つ…ご飯を食べる時(気が緩んでいる時)は話す気になってくれる  
リンゴでも剥きながら、横に座って話を振ってみる。

#### ★コミュニケーション不足について

- ・コミュニケーション不足の一因として LINE、携帯の普及があると感じる。

#### ☆挙げられた対策

- ・子供と一緒に出掛けるきっかけを作る…二人で買い物に行く、一緒に同じスポーツをする、地域の催し物に親子で参加する(夕涼み会、親父の会)

・携帯を常に子供に持たせない…夜 10 時以降は親の目の届く定位置へ置かせる

#### 【地域での取り組み】

地域の取り組みについて発表はありませんでしたが、自分の参加したグループで聞いた所、学校の奉仕作業についてはやはり地域差が大きい様でした。

- ・小学校・中学校の OB が高齢者になった今でも奉仕作業に積極的に参加してくれる
- ・年 2 回のうち 1 回は部活ごとで集まり、部活動を通じて保護者の縦のつながりを作る  
2 回目は学年毎に集まり、保護者の横の繋がりを作る

又、荃崎中では「福祉委員」という委員があり、独居老人宅へ市から配布されるお弁当を中学生と担当の教員が届けるといった取り組みがなされており、地域に関わっていくという視点から、是非他の中学校でも行ったらどうだろうかという意見が出ていました。

#### まとめ

今回の討論会は終始和やかな雰囲気の中、皆さんが自由に自分の意見を述べていました。同じ年齢の子を持つ親として、心配に思う事は皆同じだと感じる事が出来、安心しました。心配事への対策についても、上にお子さんがある方から適切なアドバイスが出る事が多く、今後の子育てへの不安を軽くしてくれたと感じました。

役立つ講演会の内容を各学校へ配信する事も大切な活動と思いますが、今回の様に各学校の代表者が集まり、互いに自分の学校の困っている点を話し合う事や、他校の取り組みを知り、良い点は取り入れるきっかけを作る事も女性ネットワークの大切な役割であると感じました。

又、「女性ネットワーク」の発信する内容が近所のコミュニティに入れない、若い母親にも役立つものであれば良いと仰っていた言葉が印象的でした。

以上